



石崎奉燈祭 ～勇壮華麗に乱舞共演～



8月6日(土)：石崎町

炎天下の中、今年も能登一の奉燈を担いだ若き血潮に溢れる男たちが、勇壮華麗に石崎町を練り歩いた。

石崎奉燈祭は、前夜祭として和倉温泉駅前で行われた西三区の奉燈が乱舞するところからスタート。本祭では東一区から東四区、西一区から西二区の合計6基の奉燈が石崎町内を練り歩いた。一番の見せ場である堂前広場では、力みなぎる男たち約100人が迫力ある太鼓と笛の音で『心』を一つに合わせ、重さ2トンの奉燈を勇壮華麗に乱舞させた。



奉燈をかぶく若衆



奉燈をかぶく若衆



堂前広場前にて

七尾市・金泉市中学生交流事業 ～新たな友情の和が広がる～

七尾市と姉妹都市韓国金泉市との中学生交流が昨年引き続き行われた。今年も両市から中学生各20人が参加。

お互いに言葉で四苦八苦しながらもそこは子ども。はじめは緊張感が見られたが、相手を知ろうとする子どもたちの飾らない素直な気持ちで、お互いの気持ちを通わせた。

両国でそれぞれ4泊5日の滞在。両国の子どもたちに一番の思い出を聞くとホームスティが一番人気だった。めったにできない異国の家庭で生活したことが、子どものみならず、受け入れた家族も一生の思い出となり、国境を越え、新たな友情の和が広がった。

この友情がいつまでも続き、さらなる友情の和が広がることを期待したい。



御城中学校交流体験(日本)



直指寺信泊体験(韓国)



再会を誓う子どもたち



千賀ノ浦部屋交流(日本)



お別れ式(日本)



韓国伝統婚礼式(韓国)



テコンドー体験(韓国)



7月23日(土) 御祓川沿い

御祓川は流れがなく汚れがひどい。そこで、昔行われていた『夏越の大祓』を復活し、御祓川に清流が戻る機会となればと始まった御祓川まつり。ソプラノ歌手雨谷麻世さんを招き小丸山小学校、山王小学校の子どもたちと『僕にできること』を斉唱。小丸山小学校6年の藤岡果林さんは「雨谷さんの声がとてもきれいで、楽しかった」と笑顔で答えてくれた。夜は3000個の口ソクに灯りがともり、御祓川は神秘的な雰囲気包まれた。

第8回御祓川まつり
能登からつなぐ希望の灯り



7月23日(土) 赤浦潟

小丸山小学校30人の子どもたちが約6,000匹のコイの稚魚を放流した。近年の赤浦潟はブラックバスなどの外来魚が増えたため、昔から生息するコイやフナなどが激減。この放流活動は、生態系や自然環境を保つことを目的に行われている。小丸山小学校4年の高木彩花さんと窪風花さんは「大きくなってほしいと願って放流した」と話した。この放流活動は、赤浦潟の環境を守っていく大切さを子どもたちが知る機会となった。

赤浦潟稚魚放流
赤浦潟の環境保全を願う



7月29日(金) 能登島ガラス美術館

平成3年にオープンした能登島ガラス美術館が開館20周年を迎えた。開館20周年を記念して光の子保育園児によるハンドベルコンサートが行われ、来場者の目と耳を楽しませた。また、ガラ美キッズ「一日子ども館長」では、館内の見回り、館長室での執務、入り口での入館者のお出迎えなどを体験。子ども館長を体験した天神山小学校5年の高村晃拓さんは「館内の見回りは大変だったけど、また来たい」とガラスの魅力を感じる一日となった。

能登島ガラス美術館
記念コンサート&一日子ども館長
開館20周年



7月24日(日) 七尾湾周辺

上木 修選手(七尾市)

全国からトライアスロン169人、リレー9チーム、アクアスロン4人の選手が参加。地元からも上木修さんほか4人が参加。上木さんは「完走目指し、全力でがんばります」と力強く答えてくれた。天候は曇り。6時のスタートの時、選手たちは緊張した面持ち。スタートの合図と同時に、選手たちは肌寒く感じる海へ一斉に飛び込んだ。取材を通して過酷な鉄人レースであることを肌で実感。来年、市民の皆さんも会場に足を運び、実感してみてください！

第7回七尾湾岸トライアスロン
アクアスロン大会



8月6日・7日に行われた石川県体育大会で七尾市が3連覇し、10日(水)三浦教育長を表敬訪問した。キャプテンの瀬戸洋さんは「準決勝(開催市:白山市)が一番厳しかったが何とか優勝できた。来年も4連覇を目指したい」と意気込みを見せた。市内には3つ(中島・田鶴浜・七尾)のクラブチームがあり、今回は市予選を勝ち抜いた中島クラブの選手が中心となって栄冠を獲得。また、今大会では、卓球一般女子が2年連続優勝を果たした。

県民体育大会バスケットボール競技
(一般男子)3連覇!



8月3日(水) なみの里(石崎町)

施設がオープンした平成21年2月から入所する松田さん。毎日歩行器を使って施設内を自分の力で歩く。1日3回の食事はほとんど残さず、自分でしっかり食べるという元気さ。同席した孫の千香子さん(奥原町在住)(写真右)も「長生きの秘訣は何でも好き嫌なく食べることではないか」と話した。いつもは笑顔を見せるという松田さんはやや緊張した面持ちながらも、時折優しい笑顔を見せていた。

松田 良作 さん
100歳おめでとうございます

七尾検定の答え ■ Q1. 答え ① 息子の久蔵。祥雲寺障壁画として描く。②は養父、③は等伯のこと、④は夫人の名。
■ Q2. 答え ① 能登時代(信春)の作品。七尾美術館所蔵。②④は50代中頃の作品。③は、祥雲寺障壁画。